

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-80915

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)5月23日

E 04 C 1/08

7238-2E

審査請求 未請求 (全4頁)

⑮ 考案の名称 建築用ブロック

⑯ 実 願 昭60-172772

⑰ 出 願 昭60(1985)11月8日

⑱ 考 案 者 中 尾 繁 男 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字岩戸36番地2

⑲ 出 願 人 中 尾 繁 男 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字岩戸36番地2

⑳ 代 理 人 弁理士 衛 藤 彰

㉑ 実用新案登録請求の範囲

第1図の様なブロックに3, 4, 5の穴を空け、隣接のブロックとボルトで固定しながら組立てる建築用の木製又はコンクリートやガラス製のブロック。

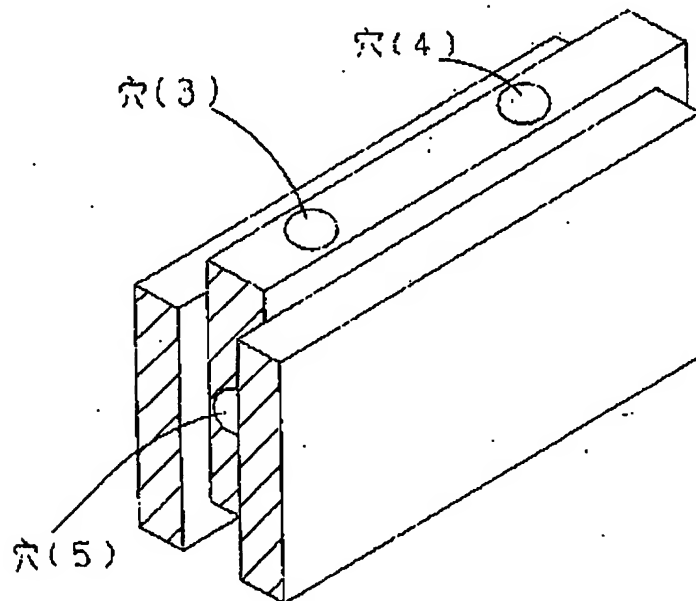
図面の簡単な説明

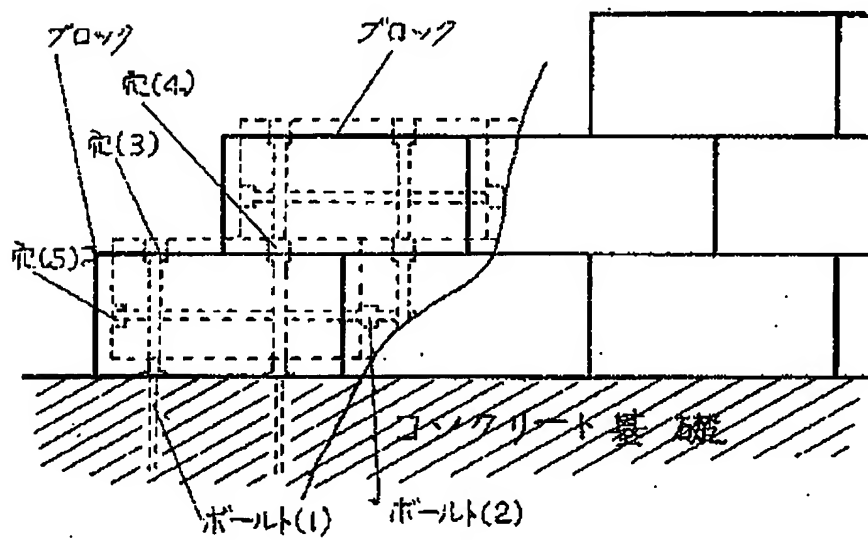
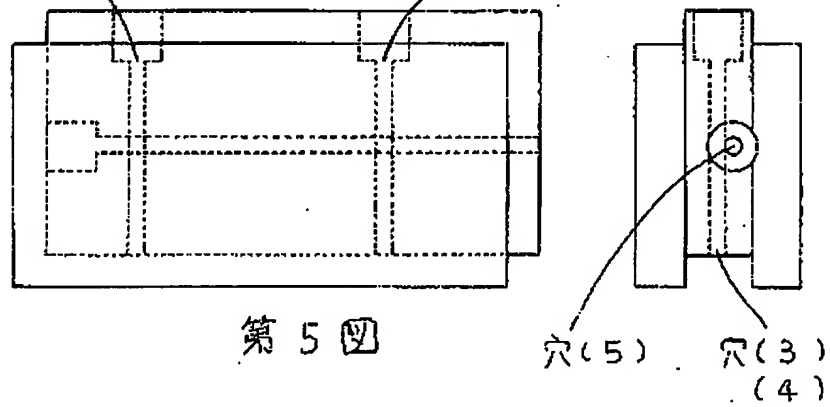
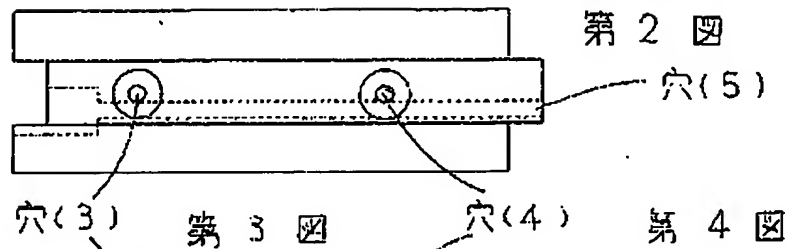
第1図斜視図、第2図正面図、第3図側面図、

第4図平面図、第5図組立図、第6図ボルト図。

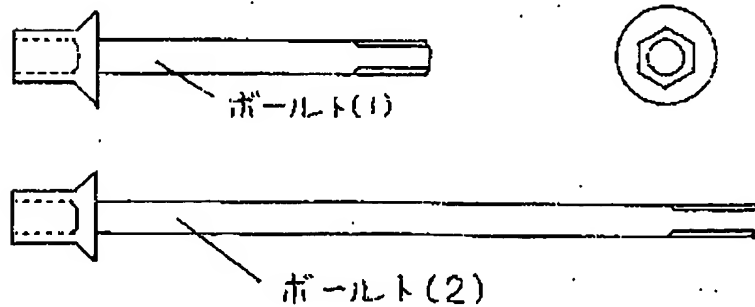
1はボルト(短)、2はボルト(長)、3は穴(ボルト1用)、4は穴(ボルト1用)、5は穴(ボルト2用)、6はコンクリート基礎。

第 1 図





第6図



補正 昭61. 8.11

考案の名称を次のように補正する。

④考案の名称 建築用ブロック

実用新案登録請求の範囲、図面の簡単な説明を次のように補正する。

⑤実用新案登録請求の範囲

一端には隣接する建築用ブロックと係合する側方溝を設け、他端には隣接する建築用ブロックと係合する側方凸部を設け、上面には段差を有する上方凸部を設け、下面には前記上方凸部と係合する形状の下方溝を設けた建築用ブロックにおいて、上記上方凸部から下方溝までの間を貫通する

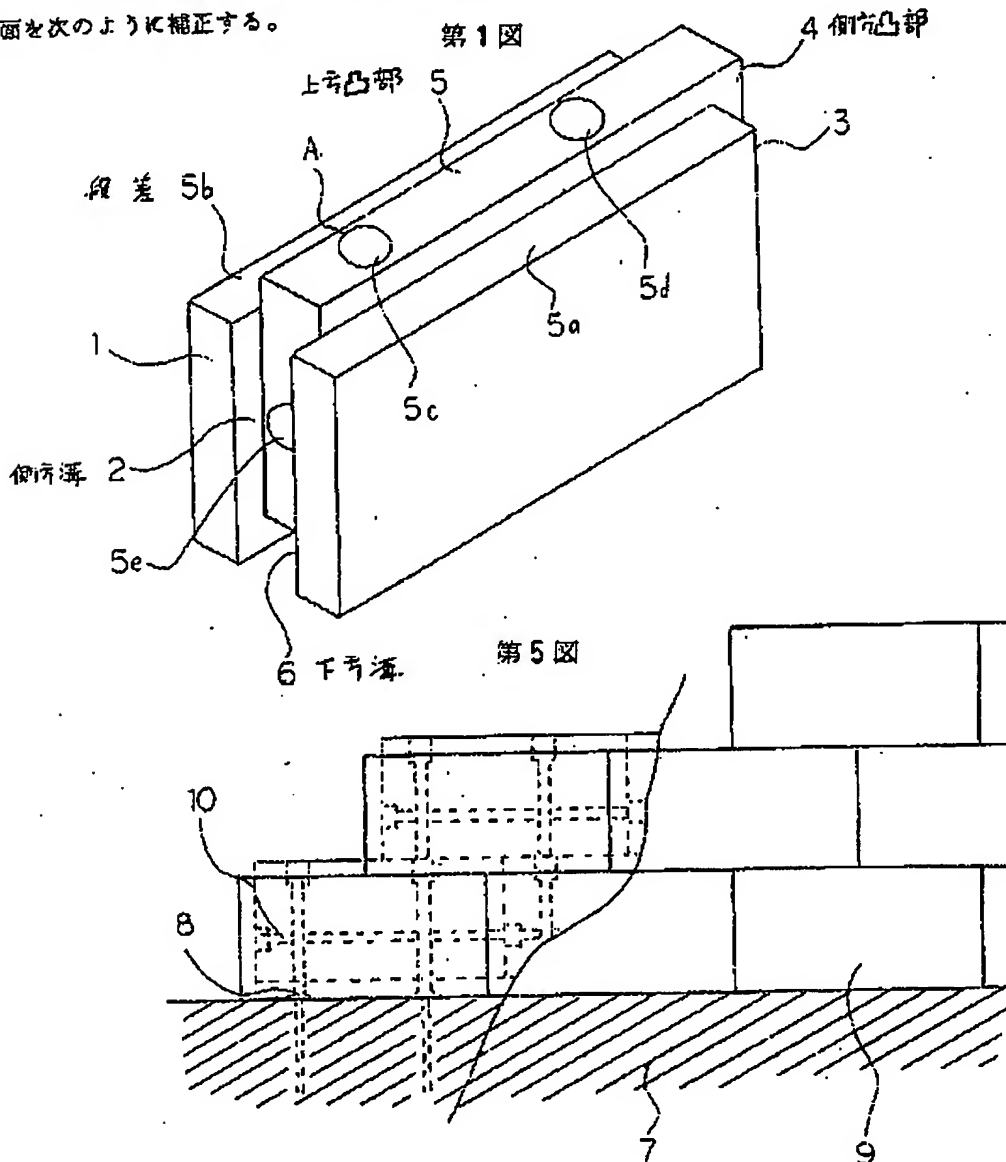
図面を次のように補正する。

挿通孔を設けたことを特徴とする建築用ブロック。

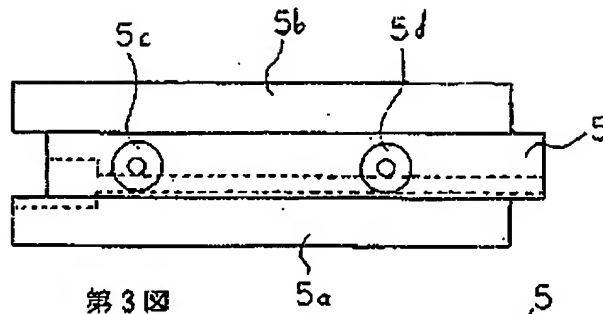
図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る建築用ブロックの斜視図、第2図は第1図の平面図、第3図は第1図の正面図、第4図は第1図の側面図、第5図は本考案に係る木製ブロックを積み重ねた状態の斜視図、第6図はボルトを示す正面図である。

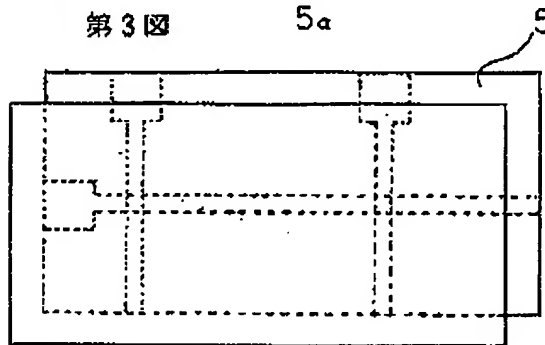
2…側方溝、4…側方凸部、5…上方凸部、5a、5b…段差、5c、5d…挿通孔、6…下方溝。



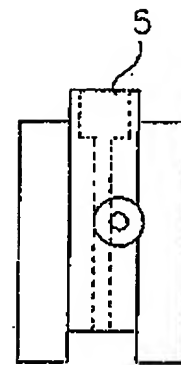
第2図



第3図



第4図



第6図

